



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

第3期高幡地域アクションプランの進捗状況等について

平成30年度地域アクションプランの修正項目（案）

高 幡 地 域 本 部

平成30年9月7日（金）

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 7

高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全41項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取組を進めている。

J A土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農水産物の出荷の増のほか、イートインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額などが順調に推移している。

また、四万十栗のブランド化と関連産業を含めた地域産業クラスターの形成を図るため、栗の生産拡大とともに、新たに整備した加工施設で栗のペースト加工に取り組んでいる。

畜産分野では、四万十町において養豚農家自らが産振総合補助金を活用して整備した加工・直販所が順調に売上を伸ばしているほか、養豚規模の拡大と生産効率の改善を図った畜舎で、母豚の増頭や農場 HACCP の認定取得に向けて取り組んでいる。さらに、四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大の取組では、産振総合補助金を活用して整備した新加工場がこの3月末に完成し、現在、産振アドバイザーを活用しながら現在新商品の開発に取り組んでいる。また、梶原町では、畜産業の維持振興と兼業農家の所得向上を図るため、横貝の畜舎等の増築と繁殖雌牛の増頭が進んでいる。

林業分野では、四万十町において、H30.3月にオープンした森林組合の四万十ヒノキ展示・商談施設を活用した新規取引先の開拓が進んでいる。また、オーテピア高知図書館へ木製書架、黒潮町新庁舎等へ内装製品を納入したほか、世界的な有名なブランド「シモンズ」への四万十ヒノキシリーズベッド納品数が好調であるなど、売上が増加しており、大正集成材工場の年間売上額も31年度到達目標である3億円を超える結果となった。

水産業分野では、生産者や出荷業者等において、新規就業者の確保や、県内外の取引先や商談会に参加する等の定期的な外商活動を行っており、販売量が増加している。

商工業分野では、平成29年7月にオープンした中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点「道の駅なかとさ」が、オープン後約1年が経過した本年6月末現在で施設全体の売り上げが380百万円を、レジ通過者数が35万人を超えるなど順調に推移している。今後は、その他の既存の地元スポット（大正町市場など）とのさらなる相乗効果が図られるよう、道の駅案内所での町内観光地のきめ細やかな案内に加えて、連携策の検討を進めていく。

観光分野では、須崎市で浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点とする整備が進んでおり、昨年度は大島地区の施設整備が概ね完了し、現在、坂内地区の施設整備が進んでいる。海洋スポーツに関する国内の合宿の誘致や東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前合宿の誘致を進めていくとともに、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐くろしお 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)販売額 H27実績:85.6億円 →H29目標:88.2億円(実績:89.3億円) →H30目標:90.9億円 →H31目標:92億円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要農産物3品目販売額(6月末):63.1億円 ・目慣らし会:15回 ・現地検討会:3回 ・IPM技術の実証ほの調査:8か所 ・環境制御技術の実証ほ等の調査:22か所 ・環境制御技術及び病害対策の啓発資料配付: 計10,042部 ・JA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会開催:1回 (活動計画の検討・実施及び目標の共有) ・JA土佐くろしお連絡会:3回 ・環境測定装置説明会開催:2回 ・環境制御機器の導入推進:事業導入に向けた取りまとめ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の高位平準化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施
<p>■No.2 JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)土佐くろしお村村営みのり ・JA土佐くろしお 	<p>[目標]</p> <p>(株)土佐くろしお村村営みのり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全作業受託面積 H27実績:5ha →H29目標:14ha(実績:12.97ha) →H30目標:14ha →H31目標:10ha ○一部作業受託面積 H27実績:28ha →H29目標:30ha(実績:28.25ha) →H30目標:38ha →H31目標:54ha <p>(JA土佐くろしお)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直販所販売額 H26実績:77,185千円 →H29目標:201,000千円(実績:306,711千円) →H30目標:306,500千円 →H31目標:195,100千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全作業受託面積(6月末):14.6ha(前年比112.6%) ○一部作業受託面積(6月末):38.2ha(前年比135.5%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○直販所販売額(6月末):86,994千円(前年比108%) キッチンを除く(6月末):80,706千円(107%) キッチン(6月末):6,287千円(133%)</p> <p>〔「村営みのり」農作業受託〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取締役会(5/8)、取締役会及び総会(6/21) ・中山間農業複合拠点に向けた取組 ・坂ノ川農業改良組合との業務委託 ・拠点事業に向けたコンサル ・田植機2台、防除機1台の導入協議 ・新荘生産組合との業務委託に向けた検討(H31年度) <p>〔「とさっ子広場」直販所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会(4/4)、第2回通常総会(4/23) ・2周年記念祭(5/18) ・キッチン従業員による6次産業化実践セミナー参加 (6/13、7/26) ・とさっ子広場出荷者による直販所視察研修(6/14) 参加者:23名 <p>〔課題と今後の対応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な受託作業の仕組みづくり ⇒多様な受託作業に対応可能な体制の構築 簡易作業(水管理等)の季節雇用(作業委託) ・直販所の売上向上 ⇒月別売り上げ分析に基づく計画出荷と出荷拡大 直販所で販売する総菜の充実
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 	<p>〔目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額 H26実績:2.7億円 →H29目標:3.5億円(実績:3.6億円) →H30目標:3.7億円 →H31目標:3.2億円 ○農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: H26実績:8,099千円 →H29目標:18,067千円(実績:15,976千円) →H30目標:18,067千円 →H31目標:20,000千円 ○所得400万円以上の農家数 H26実績:6戸 →H29目標8戸(実績:12戸) →H30目標:10戸 →H31目標:8戸

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>○主要農産物5品目販売額(6月末)：240 千万円 ○農業分野補完品目販売額(7月末)：1,492 千円 (加工用ワサビのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野山地域営農連絡協議会開催：3回 ・津野山地域営農連絡会幹事会：1回 ・生産部会現地講習会等の開催：3回 ・実証ほの設置：4カ所 ・担い手育成、複合経営拠点等に係る協議の実施 協議会：2回、関係者打合せ：2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ⇒産地提案書の作成(禰原町)・見直し(津野町)・追加
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)アースエイド 	<p>[目標]</p> <p>○売上高 H26実績：5,719千円 → H29目標：30,000千円(実績：77,658千円) → H30目標：35,000千円 → H31目標：40,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(6月末)：16,590千円(前年同期比41%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規取引先の開拓：3件 ・新商品の開発：1品目(葉にんにく餃子) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な人材の確保 ⇒会社の魅力をPRする広報戦略の展開
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おのおのみエコロジーファーマーズ 	<p>[目標]</p> <p>○エコ米販売量 H27実績：12.9t → H29目標：22t(実績：18.5t) H30目標：24t → H31目標：27t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催：1回 ・執行委員会の開催：1回 ・圃場の巡回指導：1回 ・教育現場との交流活動：5回 <ul style="list-style-type: none"> ▶高知県立大学(COME☆RISH)(3回) ▶中学校：水生生物調査(1回) ▶小学校：清流度調査・水生生物調査(1回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ⇒エコロジーファーマーズの取組周知 (HPや口コミによる賛同者拡大の取組) ・作付面積の拡大 ⇒生産拡大に向けた営農指導 ・ブランド力向上 ⇒コンクール等、新たな取組の検討 H30「未来につながる持続可能な農業推進コンクール 「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」への応募 ⇒在庫管理の徹底
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額 H26 実績：14,367 千円 → H29 目標：18,000 千円 (実績：16,165 千円) → H30 目標：20,000 千円 → H31 目標：22,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売額 (6 月末)：1,554 千円 (前年比 63.4%) ○生産体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・生産羽数の増加 生産者数：6 軒 (6 軒中休んでいた生産者 1 軒が再開見込) ○県版 HACCP 第 2 ステージ認証取得に向けた取組等 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に係る研修の受講 (6/5) ・アドバイザー現地指導 (9/4) ・平成 30 年度食品表示研修受講 (6/13 入門編受講) ○外商の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「召しませ雲の上のキジグルメ」の展開 (通年) ・土佐の食 1 グランプリ出店 (4/1) ・梶原町観光びらき出店 (4/14) ・高知県産品商談会参加 (5/29) (見積依頼 1 件、ギフト継続依頼 1 社) ・よろず支援拠点で HP 及び SNS 活用相談 (8/22) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 ⇒商談会出展やサンプル提供先への営業の継続 ・認知度及びブランド力の向上 ⇒SNS 等を活用した情報発信

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.8 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人津野山畜産公社 ・梶原町 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出荷頭数 H27実績：105頭 → H29目標：105頭(実績：90頭) → H30目標：105頭 → H31目標：136頭 ○販売額 H27実績：100,969千円 → H29目標：93,700千円(実績：99,609千円) → H30目標：93,700千円 → H31目標：131,143千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出荷頭数(6月末)：24頭(前年比240%) ○販売額(6月末)：34,664千円(前年比182%) ・事務所、子牛畜舎及び分娩畜舎：9月末完成予定 ・繁殖牛70頭導入予定(H29 50頭導入済み) 20頭導入(7月) ・(一社)津野山畜産公社理事会：5/25、総会：6/11 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖用・肥育用子牛の高騰による地域農家の負担増 ⇒地域内農家への供給に向けた子牛の増頭 ・職員定年退職による人材不足(H30) ⇒職員の採用
<p>■No.9 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 ・津野町 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○茶製品販売額 H26実績：13,596千円 → H29目標：33,958千円(実績：35,026千円) → H30目標：34,000千円 → H31目標：34,000千円 ○荒茶販売額 H26実績：51,218千円 → H29目標：53,431千円(実績：45,859千円) → H30目標：46,000千円 → H31目標：54,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○茶製品販売額(6月末)：7,705千円(前年同期比：54.2%) ○荒茶販売額(6月末)：32,623千円(前年同期比：86%) ・大手企業との協賛事業実施(商談会、交流イベント) ・販売促進の展開(イベント販売)(6月末)：3回 ・高知県産品商談会への参加(1回) ・お茶講座の実施(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶製品の販路拡大 ⇒イベント参加から販売先(主に卸売業者)の開拓に重点をシフト

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒茶の販売単価の向上 ⇒ つの茶の販売戦略計画に基づく買い取り支援 ⇒ かぶせ茶への転換の呼びかけ
<p>■No.10 みどり市を核とした「地消地産」の推進（四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 四万十 <p>※地域産業クラスター関連（四万十の栗プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「産直コーナー」の販売金額 H26 実績：221,286 千円 → H29 目標：250,000 千円（実績：246,719 千円） → H30 目標：270,000 千円 → H31 目標：300,000 千円 ○ 「手づくりキッチン」の販売金額 H26 実績：30,047 千円 → H29 目標：33,000 千円（実績：44,573 千円） → H30 目標：34,000 千円 → H31 目標：35,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「産直コーナー」の販売金額（6月末）：60,008 千円 （前年同期比：98.9%） ○ 「手づくりキッチン」の販売金額（6月末）：11,113 千円 （前年同期比：95.9%） <ul style="list-style-type: none"> ・ みどり市総会：1 回 ・ みどり市産直の運営に係る検討会：3 回 ・ 手づくりキッチンの運営に係る検討会：3 回 ・ 100 万人達成イベント（5/21、記念品贈呈） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の生産出荷量の増加 ⇒ 継続的な栽培技術支援
<p>■No.11 四万十の栗再生プロジェクト（四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十の栗再生プロジェクト推進協議会 <p>※地域産業クラスター関連（四万十の栗プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料供給量（JA 集荷量） H26 実績：17t → H29 目標：31t（実績：39t） → H30 目標：38.2t → H31 目標：45t ○ 加工品売上高 H26 実績：33,320 千円 → H29 目標：69,000 千円（実績：62,683 千円） → H30 目標：69,000 千円 → H31 目標：100,000 千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 加工品売上高（7月末）：20,021 千円（前年同期比 169%） ・ モデル園生育調査：1 回 ・ 特選栗指導打合せ：1 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栗の生産出荷量の増加 ⇒ 低樹高栽培に向けたせん定技術の普及

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域資源活用推進と加工場等の整備 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 <p>※地域産業クラスター関連 (四万十ポークブランド推進プロジェクト)</p>	<p>[目標] —</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源活用 <ul style="list-style-type: none"> ・根茎腐敗病対策などに寄与する土壌に関する研究体制の構築 (H31.3月末予定) に向けて大学などと協議中 ○加工施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村振興交付金 (国庫) の申請 (国内示 6/22) ・あぐり窪川との定例会 (月 1 回) : 4 回 ・加工施設建設用地地権者との協議 : 2 回 ・土地収用事業認定申請 (6/28 事前申請済) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入補助事業のスケジュールを踏まえた適切な進捗管理 ・加工施設建設用地の取得交渉 ・加工場の衛生管理の強化 ⇒HACCP 研修受講など
<p>■No. 14 四万十町畑作振興プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十野菜合同会社 ・(株) ハマヤ 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合同会社販売額 H26 実績 : 0 千円 → H29 目標 : 96,978 千円 (実績 : 68,038 千円) → H30 目標 : 108,222 千円 → H31 目標 : 118,911 千円 ○合同会社雇用者数 H26 実績 : 0 人 → H29 目標 : 12 人 (実績 : 10 人) → H30 目標 : 16 人 → H31 目標 : 18 人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合同会社販売額 (5 月末) : 9,566 千円 (前年同期比 : 714%) ○合同会社雇用者数 (6 月末) : 10 人 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 (6 月末) : 3 回 ・事業計画打合せ (6 月末) : 3 回 ・有機勉強会 (6 月末) : 3 回 ・5 割減個別指導 (6 月末) : 11 回 ・商談会 (6 月末) : 4 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産拡大 ⇒栽培技術向上への支援
<p>■No. 15 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ポークブランド推進協議会 ・農事組合法人四国デュロックファーム 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(農)四国デュロックファーム <p>【売上高】</p> <ul style="list-style-type: none"> H27 実績 : 518,785 千円 → H29 目標 : 549,095 千円 (実績 : 551,573 千円) → H30 目標 : 551,545 千円 → H31 目標 : 551,545 千円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・農事組合法人平野協同畜産</p> <p>※地域産業クラスター関連(四万十ポークブランド推進プロジェクト)</p>	<p>○(農)平野協同畜産</p> <p>【母豚数】</p> <p>H27実績：420頭</p> <p>→ H29目標：450頭(実績：483頭)</p> <p>→ H30目標：500頭 → H31目標：500頭</p> <p>【出荷頭数】</p> <p>H27実績：8,400頭</p> <p>→ H29目標：9,550頭(実績：8,644頭)</p> <p>→ H30目標：10,800頭 → H31目標：11,000頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上高(6月末)：118,505千円(前年同期比89.3%)</p> <p>○母豚数(6月末)：490頭(前年同期比108.6%)</p> <p>○出荷頭数(6月末)：2,230頭(前年同期比104.3%)</p> <p>○四万十ポークブランド推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町クラスター意見交換会：1回(5/10) ・四万十ポークブランド推進協議会総会：1回(6/25) <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会への参加：4回 ・新商品開発に関するセミナー受講等：1回(7/13) <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農場HACCPに係る打合せ、チーム会：4回 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○(農)四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保 <p>○(農)平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷頭数の増頭 ⇒衛生管理と生産体制のさらなる向上
<p>■No.16 四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ぶらうん</p>	<p>[目標]</p> <p>○加工品売上高</p> <p>H28実績：49,691千円</p> <p>→ H29目標：49,575千円(実績：51,073千円)</p> <p>→ H30目標：72,002千円 → H31目標：84,677千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品売上高(6月末)：12,907千円(前年同期比：87.9%) ・産振アドバイザーの活用(新商品開発)：1回(4月) ・産振シンポジウムにて事例発表(5/15) ・高知県産品商談会への参加(5/29)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化セミナー実践コース受講：全9回(6/13, 7/26, 8/28, 9/18(予定) 他5回) ・イベント等への参加：1回 ・その他商談会への参加：4回 (7/6 ちばさんセンター旭食品商談会、6/20 東京 食の魅力発見商談会、9/26(予定) 東京 タツミフード) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の安定生産及び販売体制の強化 ⇒「6次産業化セミナー」の受講 ・農場、加工場の衛生管理の強化 ⇒HACCP 研修受講など
<p>■No. 17「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町 ・中土佐町 ・地元事業者 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) H26実績：13,999m³ → H29目標：27,000m³(実績：25,923m³) → H30目標：27,000m³→ H31目標：15,400m³ ○集成材工場の売上高 H26実績：4億円 → H29目標：2.9億円(実績：3.5億円) → H30目標：2.9億円 → H31目標：3億円 ○F S C等認証森林面積 H26実績：6,678ha → H29目標：7,200ha(実績：7,189ha) → H30目標：7,200ha → H31目標：8,013ha ○販売連携事業者数 H26実績：0社 → H29目標：2社(実績：1社) → H30目標：2社 → H31目標：3社 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域森林資源の原木生産量(6月末)：7,262m³ (前年同期比：127%) ○集成材工場の売上高(6月末)：44百万円 (前年同月比：110%) ○FSC等認証森林面積(6月末)：7,189ha(前年同月比：100%) ○販売連携事業者数(6月末)：1社(累計) ・四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数(9月末見込)：180回 ・ベッドメーカー(シモンズ)へのベッド納品台数(9月末見込)：63台 ・集成材工場展示場において住宅相談会を開催：1回(6/10) ・集成材工場展示場を活用した親子木工教室：1回(8/4)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会:1回、総会:1回 四万十ヒノキの輸出に向けた関係者との協議 : 2回(7/19, 7/26) ・ 韓国企業が(協)高幡木材センター、関西木材建設、大正集成材工場へ視察商談(4/9) ・ 中土佐町役場新庁舎、久礼保育所及び美馬旅館別館に四万十ヒノキを導入 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場を活用した外商活動の強化 ⇒新規バイヤー獲得に向けた産地商談会の開催
<p>■No. 20 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高知精工(株) 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品販売高 H26実績:5,701千円 → H29目標:9,500千円(実績:6,920千円) → H30目標:9,000千円 → H31目標:10,000千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品販売高(6月末):1,084千円(前年同期比:52.2%) <ul style="list-style-type: none"> ・ PRの強化に向けHPを改修を検討中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP等でのPR及び製薬会社等への商談 ・ 人材の確保 ⇒地域おこし協力隊の募集
<p>■No. 24 野見湾産養殖カンパチの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大谷漁協 ・ 大谷漁協ネイリ部会 ・ (株)みなみ丸 	<p>[目標]</p> <p>(大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高 H26実績:4,320千円 → H29目標:57,612千円(実績:42,583千円) → H30目標:81,608千円 → H31目標:86,960千円 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○売上高(6月末):10,103千円(前年比:56.9%) (*昨年5月はふるさと納税で950万程度の売上げがあり、特別多かった事情あり) ・ 県内、外商談会への参加(3回) サンプル送付(2件) ・ 奈良コープでの試食会の開催(3回:6日) ・ 鮮魚及びフィレ等の加工品により、販路を拡大

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>・販路の開拓 ⇒商談会への参加</p>
<p>■No. 25 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株)大東冷蔵 ・(有)小島水産 <p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内水産資源活用クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>(土佐鯛工房)</p> <p>○販売数量</p> <p>H26実績：60千尾</p> <p>→ H29目標：80千尾(実績：71千尾)</p> <p>→ H30目標：90千尾 → H31目標：100千尾</p> <p>(乙女会)</p> <p>○販売数量</p> <p>H26実績：53千尾</p> <p>→ H29目標：300千尾(実績：244千尾)</p> <p>→ H30目標：300千尾 → H31目標：300千尾</p> <p>[取組状況]</p> <p>○販売数量</p> <p>土佐鯛工房(6月末)：17千尾(前年比：114%)</p> <p>乙女会(6月末)：65千尾(前年比：235%)</p> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会：2回 ・新規漁業就業者の確保：長期研修受講者2人 <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者及び生産量の確保 ⇒県主催のセミナー等による継続的な雇用募集
<p>■No. 28 大正町市場商店街活性化事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正町市場組合 ・中土佐町商工会 ・中土佐町 	<p>[目標]</p> <p>○大正町入込客数(浜ちゃん食堂)</p> <p>H26実績：20,586人</p> <p>→ H29目標：26,000人(実績：24,961人)</p> <p>→ H30目標：27,000人 → H31目標：28,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○大正町入込客数(浜ちゃん食堂)(6月末)：5,977人 (前年同期比：86.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップへの継続支援 ・チャレンジャー募集(9月頃予定)の準備 ・アンケート調査の継続実施に向けた取組

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街フリーペーパー「お宮さん便り」の発行 (隔月・道の駅への配置) ・各店舗へのショップカードの配置 ・観光案内・移住相談窓口開設(ぜよびあ1階にて土曜のみ) ・新店舗(立ち飲みスペース)開設(5月～週末のみ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化に向けた関係者の意識の共有 ⇒活性計画等策定に向けた枠組みづくり
<p>■No. 29 中土佐町SEAプロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 ・(株)SEAプロジェクト 	<p>[目標]</p> <p>○売上高</p> <p>H28: 0円</p> <p>→ H29 目標: 193,500千円(実績: 296,533千円)</p> <p>→ H30 目標: 309,600千円 → H31 目標: 340,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○売上額(6月末): 83,549千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内SEAプロジェクト運営会実施: 3回 ・1周年記念イベント(7/15、7/22) ・イベント実施: 2回(4/15、5/3) ・イベント出店に向けた出荷者協議: 1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体の賑わいの創出に繋がる仕組みづくり ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携 ・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用 ・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等 ・既存の地元施設との連携による相乗効果の発揮 ⇒道の駅案内所での町内観光地の案内、道の駅HPでの町内イベントへの誘導
<p>■No. 30 「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画・ど久礼もん企業組合 	<p>[目標]</p> <p>○商品開発数</p> <p>H26 実績: 1商品</p> <p>→ H29 目標: 1商品(年1商品)(実績: 2商品)</p> <p>→ H30 目標: 1商品(年1商品)</p> <p>→ H31 目標: 年1商品(4商品)</p> <p>○商品売上高</p> <p>H26 実績: 32,180千円</p> <p>→ H29 目標: 31,000千円(実績: 22,848千円)</p> <p>→ H30 目標: 31,000千円 → H31 目標: 50,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>○商品売上高(6月末):5,723千円(前年同期比94.2%) (内訳)店舗 :2,095千円(前年同期比88.7%) 出荷 :3,627千円(前年同期比97.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのPR販売 2回 ・タタキ体験施設「陣や」オープン(7/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒産振アドバイザーの活用、セット商品の開発 ⇒衛生面に配慮した加工施設整備の検討
<p>■No.32 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町 	<p>[目標]</p> <p>○直販所総販売額 H26実績:1.53億円 → H29目標1.55億円(実績:1.42億円) → H30目標:1.45億円 → H31目標:1.62億円</p> <p>○直販所販売額(高知店3店舗) H26実績:0.91億円 → H29目標0.86億円(実績:0.85億円) → H30目標:0.88億円 → H31目標:1億円</p> <p>○満天の星売上 H26実績:1.89億円 → H29目標2.17億円(実績:2.45億円) → H30目標:2.62億円 → H31目標:2.27億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○直販所総販売額(6月末):0.36億円(前年比92.8%) ○直販所販売額(高知店3店舗)(6月末) :0.20億円(前年比93.5%)</p> <p>○満天の星売上(6月末):0.70億円(前年比114.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者経営会議等:8回 ・販促イベント(15回、延べ44日)新茶祭り、特産市、博多大丸TBSおめざ感謝祭など <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応えた生産・供給体制 ⇒各店舗の販売状況の分析 ⇒特産品開発に向けた農産物(サトイモ)の栽培 ⇒東京農大連携による商品開発の検討 ・統合JAの大型直販所オープンに向けた対策 ⇒町内直販所連絡協議会による検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十観光協議会 ・須崎市 ・中土佐町 ・梶原町 ・津野町 ・四万十町 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要観光施設入込客数 H26実績: 1,954,206人 → H29目標: 2,100,000人(実績: 2,310,933人) → H30目標: 2,417,398人 → H31目標: 2,459,000人 ○宿泊者数 H26実績: 40,925人 → H29目標: 60,000人(実績: 72,287人) → H30目標: 74,509人 → H31目標: 51,300人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主要観光施設入込客数(6月末): 665,093人 (前年同期比: 106%) ○宿泊者数(6月末): 18,435人(前年同期比: 107.1%) <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十観光協議会推進部会の開催(4/10) ・「ほっと高知」、「JAFプラス四国版」、「西日本おでかけマンスリー」、「道の駅マップ四国版」へのエリア情報掲載(4~6月) ・関係機関へのヒアリングの実施(5~6月) ・高知県観光説明会等参加(4/18高知、5/17福岡、5/29名古屋、6/19広島、6/20岡山) ・奥四万十地域の観光調査・分析及び観光戦略策定 委託業務プロポーザル審査会の実施(6/12) 委託契約締結(6/26) (奥四万十観光協議会事務局へのヒアリング、市町及び関係者への聞き取り調査、ワークショップの実施(7月~)) ・土佐の観光創生塾参加(6月~) ・愛媛県内道の駅へのセールス(12カ所) ・観光関係者を対象とした域内観光地のモニターツアー実施(7/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光推進組織力の強化 ⇒推進部会の定期開催 ⇒中長期観光戦略の策定 ・魅力ある観光資源の発掘と磨き上げ、商品化及び情報発信 ⇒商談会・説明会への参加 ⇒旅行会社(メディア・タウン誌)の招聘、広域ガイドブックの多言語化 ⇒観光施設等やイベントでのアンケート調査の実施 ・地域観光に携わる人材の育成 ⇒域内観光地の研修ツアーの実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 35 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》 ・須崎市</p> <p>※地域産業クラスター関連(宇佐・浦ノ内水産資源活用クラスター)</p>	<p>[目標]</p> <p>○交流人口 H26実績:16,000人 →H29目標:18,000人(実績:17,456人) →H30目標:19,000人 → H31目標:23,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○交流人口(5月末):3,024人(前年同期比140%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県と須崎市関係各課との協議:1回 ・スポーツセンターを活用した地域活性化策の検討会:1回 ・スポーツ合宿(5月末):84人泊 ・個人向け体験プログラムの利用者数(5月末):103人 ・オリパラ事前合宿視察受入:1カ国(シンガポール) ・施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ▶大島地区(1,000mカヌーレーン、4/20完成) ▶坂内地区(管理棟新設・艇庫改修工事、7/25完成) 新艇庫・トレーニングルーム新設、10月完成予定) ・地域おこし協力隊の配置(2名、4月～) ・新たな体験メニューの導入 ウォーターバルーン・BIG SUP(4月～) 海上アスレチック(7/23) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の充実・強化 ⇒合宿受入窓口一本化に向けた協議 ・PRの強化 ⇒関係者と広報戦略に関する協議、営業力強化に向けた検討 ・地域への経済波及効果を生み出す仕組み作り ⇒関係団体や事業者との協議
<p>■No. 39 清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感!～観光集客アップ作戦～(津野町)</p> <p>《事業主体》 ・津野町</p>	<p>[目標]</p> <p>○主要宿泊施設年間宿泊数 H26実績:8,114人 →H29目標:9,885人(実績:10,072人) →H30目標:9,970人 → H31目標:10,710人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○主要宿泊施設年間宿泊数(6月末):2,477人(前年比100%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天狗高原・四万十川源流点活性化プロジェクト協議会開催第4回(4/27)、第5回(7/13) 津野町観光計画案、天狗荘施設整備等の協議 ・住民、事業者に対する津野町観光振興に向けたアンケートの実施(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・津野町観光有識者会議開催(6/21) ・天狗荘リニューアル基本構想策定委託業務プロポーザル審査(7/30) ・津野町観光振興計画アクションプランへの対応(7月～)天狗荘関連の取組等 ・幕末維新博の取組み 片岡直輝直温生家リニューアル、企画展の開催 *4/1～6/30「片岡兄弟の軌跡」 (来館者1,075人(6月末)) 吉村虎太郎邸関連津野山古道散策イベント、企画展の開催 *7/15～8/31「虎太郎と維新の群像」 ・津野町スタンプラリーⅡの開催(H30.4.14～H31.1.31) ・イベントの開催 新茶まつり、茶畑ウォーキング、特産市など ・広報の実施 ラジオ(県内外、FM毎週木曜・AM第1・3火曜)、SNS、HPによる情報発信など計97回 ・トックトック定期周遊・周遊レンタカーの実施 ・牧野植物園と津野町との連携協定の締結(7/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野町観光計画(7月策定)に位置づけられた施策への取組 ⇒重点プロジェクト(天狗荘周辺、四万十川源流点周辺エリアの施設整備と磨きあげ)への取組 ⇒津野町グルメや全天候型の観光素材、体験メニューの造成 ⇒受入体制の整備(観光組織、観光ガイド、セラピーガイドの育成等)
<p>■No.40 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株)海洋堂 ・(株)奇想天外 	<p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホビー館の年間入場客数 H26実績:44,033人 →H29目標:50,000人(実績:28,723人) →H30目標:50,000人 →H31目標:50,000人 ○常勤雇用者数 H26:実績5人 →H29目標:5人(実績:7人) →H30目標:5人 →H31目標:5人 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホビー館の年間入場客数(7月末):9,340人 (前年同期比:80%) ○常勤雇用者数(9月末見込):7人

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展開催：3回 「美似と江戸展」(3/17～5/28) 「アートプラ大賞展」(7/21～10/1) ・イベントの開催(5/5、ビンゴ大会やゴメンジャー等) (アートプラ大賞 2018 作品展) (夏休みイベント恐竜フィギア色塗り教室) ・渋滞対策の実施(シャトルバスの運行及び警備員の配置) ・イベントの計画(四国まるごと美術館) ～タツノコジェニック!88カ所アートめぐり～ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化

2 平成30年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業) 該当なし

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[修正]No.34 高幡地域における広域観光の推進(高幡地域全域)

(理由) 高幡地域の広域観光については、高幡広域市町村圏事務組合が担っていたが、組織体制の強化及び事業内容の充実により広域観光をさらに推進していくため、管内5市町及びその他関係機関で組織する官民協働の組織として平成30年2月27日に「奥四万十観光協議会」が設立された。

このため、事業主体を「高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)」から「奥四万十観光協議会、須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町」に変更する。

4 県民参画に向けた取組

- ・梶原町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/24)
- ・津野町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/24)
- ・四万十町商工会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(5/25)
- ・四万十町観光協会(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(6/25)
- ・須崎市商工会議所(総会)での産業振興計画の取組説明及び支援事業の説明(6/28)

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/6	水産加工	水産加工施設への支援制度について
2	4/12	商業	新規店舗開設に関わる支援策について
3	7/12	水産加工	水産加工施設への支援制度について
4	7/24	商業	新規事業開拓・物流拡大への支援策について

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>34 高幡地域における広域観光の推進 《高幡地域全域》</p>	<p>高幡地域内の観光地、自然、食、人などの観光資源を組み合わせる新たな商品を作成するとともに、高幡地域ならではの魅力をPRすることで知名度の向上及び観光客数の増加を図る。そして、奥四万十博で培われたノウハウを活かし、地域の商品を県内外に情報発信するとともに、旅行会社への積極的な営業活動を展開することで誘客を促進し、広域への経済効果を波及させていく。</p>	<p>・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</p>	<p>アクションプランの取組開始:H26 ・観光情報の管理及び情報発信(H26~29) ◆H26.10月に観光HPが完成し、情報等の集約、集計がスムーズに行える体制が整った。</p> <p>・商品及び観光資源の営業販売(H26~27) ◆県外旅行会社営業(H26.20回)、PRにより旅行会社のパンフレットに掲載された。</p> <p>・2016奥四万十博開催に向けた取組(H25~27) ・高幡地域の広域観光組織として「高幡広域観光推進本部会」を設立(H25) ・高幡広域観光推進本部会を開催し、地域博覧会開催が決定(H25) ◆地域博覧会を推進していく組織として「奥四万十博推進協議会」を設立し、実施態勢が整った。(H26) ・奥四万十博実施計画を策定(H27)</p> <p>・2016奥四万十博の開催(H28) ・2016奥四万十博オープニングイベントの実施(4/10)来場者数:25,000人 ◆インフォメーションセンターを「道の駅かわらその里すさき」に設置し、観光案内を実施することで、高幡広域全域へ誘客する体制が整った。 ◆県内、岡山、愛媛、香川などのテレビ局でのTVCMの広告や、ラジオや新聞などメディアを活用した広報を数多く実施し、県内外での奥四万十博PRに繋がった。 ◆首都圏や関西の旅行会社への営業や、観光キャラバンへの参加することで、観光商品の作成・販売に繋がった。 ◆ミッション8スタンプラリーやレンタカープランなど、様々なキャンペーン企画を実施することにより、エリア内の周遊促進、宿泊増加に繋がった。</p>	<p>・構成各市町における体験プログラム等の商品化力の向上 ・奥四万十博終了後も継続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化</p>	<p>◆観光情報の発信</p> <p>◆商品の作成・磨き上げ・セールス</p> <p>◆2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化</p>

修正前



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光情報の発信					→	主要観光施設入込 客数 (H26:1,954,206人)	2,459,000人
<ul style="list-style-type: none"> ・5市町及び観光関係団体からの観光情報の収集、管理 ・観光素材の写真や関係情報のデータベース化 ・Webやパンフレット、メディアを活用した広域観光情報の発信 							
商品の造成・磨き上げ・セールス					→	宿泊者数 (H26:40,925人)	51,300人
<ul style="list-style-type: none"> ・商品及び周遊プランの造成・磨き上げ ・観光資源や商品のエージェンツへのセールス 							
2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化					→		
博覧会の開催	博覧会終了後も持続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化						



修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>34 高幡地域における広域観光の推進</p> <p>《高幡地域全域》</p>	<p>高幡地域内の観光地、自然、食、人などの観光資源を組み合わせて新たな商品を作成するとともに、高幡地域ならではの魅力をPRすることで知名度の向上及び観光客数の増加を図る。そして、奥四万十博で培われたノウハウを活かし、地域の商品を県内外に情報発信するとともに、旅行会社への積極的な営業活動を展開することで誘客を促進し、広域への経済効果を波及させていく。</p>	<p>・奥四万十観光協議会 ・須崎市 ・中土佐町 ・徳原町 ・津野町 ・四万十町</p>	<p>アクションプランの取組開始：H26 ・観光情報の管理及び情報発信(H26～29) ◆H26.10月に観光HPが完成し、情報等の集約、集計がスムーズに行える体制が整った。</p> <p>・商品及び観光資源の営業販売(H26～27) ◆県外旅行会社営業(H26.20回)、PRにより旅行会社のパンフレットに掲載された。</p> <p>・2016奥四万十博開催に向けた取組(H25～27) ・高幡地域の広域観光組織として「高幡広域観光推進本部会」を設立(H25) ・高幡広域観光推進本部会を開催し、地域博覧会開催が決定(H25) ◆地域博覧会を推進していく組織として「奥四万十博推進協議会」を設立し、実施態勢が整った。(H26) ・奥四万十博実施計画を策定(H27)</p> <p>・2016奥四万十博の開催(H28) ・2016奥四万十博オープニングイベントの実施(4/10)来場者数：25,000人 ◆インフォメーションセンターを「道の駅かわらその里すさき」に設置し、観光案内を実施することで、高幡広域全域へ誘客する体制が整った。 ◆県内、岡山、愛媛、香川などのテレビ局でのTVCMの広告や、ラジオや新聞などメディアを活用した広報を数多く実施し、県内外での奥四万十博PRに繋がった。 ◆首都圏や関西の旅行会社への営業や、観光キャラバンへの参加することで、観光商品の作成・販売に繋がった。 ◆ミッション8スタンプラリーやレンタカープランなど、様々なキャンペーン企画を実施することにより、エリア内の周遊促進、宿泊増加に繋がった。</p>	<p>・構成各市町における体験プログラム等の商品化力の向上 ・奥四万十博終了後も継続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化</p>	<p>◆観光情報の発信</p> <p>◆商品の作成・磨き上げ・セールス</p> <p>◆2016奥四万十博開催及び博覧会終了後の広域観光組織の機能強化</p>

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光情報の発信					→	主要観光施設入込客数 (H26:1,954,206人)	2,459,000人
<ul style="list-style-type: none"> ・5市町及び観光関係団体からの観光情報の収集、管理 ・観光素材の写真や関係情報のデータベース化 ・Webやパンフレット、メディアを活用した広域観光情報の発信 							
商品の造成・磨き上げ・セールス					→	宿泊者数 (H26:40,925人)	51,300人
<ul style="list-style-type: none"> ・商品及び周遊プランの造成・磨き上げ ・観光資源や商品のエージェントへのセールス 							
2016奥四万十博開催及び博览会終了後の広域観光組織の機能強化					→		
博览会の開催	博览会終了後も持続的に広域観光を推進していくための組織体制の強化						